

参加無料

「森」、「自然」、「環境」に興味のある方、どなたでも参加できます！
自由に議論しましょう！

第170回 森林科学セミナー

「落葉樹は春の訪れをどのように感じるのか？ ～日の長さとの関係～」



新緑の季節。東北地方の山では、毎年、まだ雪が解け切らない頃からブナやカエデが芽吹きはじめ、少し遅れてホオノキやトチノキが続きます。温帯地域に分布している落葉樹では、気温や日の長さ（日長）を利用して季節の変化を読み取り、芽吹きを調節していることが知られています。温度情報は多くの種が共通して利用しているのに対し、日長を利用している種は限られています。どのような種が日長を利用しているのでしょうか？また、葉のない冬にいったいどこで日長を感知しているのでしょうか？本セミナーでは、東北地方でよくみられる樹種を対象に、日長と芽吹きの関係についてご紹介します。



2022年

12/16(金)

16:30~18:00

秋田県立大学 環境棟 1F

E125教室

岩手大学大学院 連合農学研究科（弘前大学 所属）
植物生態学研究室 博士課程2年

大野美涼さん

対面&オンラインで聴講できます！

学内者の方：参加自由です！（事前申し込み不要）

学外者の方：オンライン聴講の方は事前申し込みが必要です。

（12/14 16:00 締切）

右記のURL、QRコードより登録してください。

対面聴講の方は事前申し込み不要です。



<https://forms.gle/tM3HXjMjifgfL1KR7>

問い合わせ先：秋田県立大学 生物環境科学科 森林科学研究室
〒010-0195 秋田市下新城野
TEL：018-872-1618(倉田) -1608(星崎) -1619(蒔田) FAX：018-872-1677
E-mail：seikan.kurata@akita-pu.ac.jp
<http://www.akita-pu.ac.jp/bioresource/dbe/forest/>

来聴の際は、マスクのご持参をお願いします。申し訳ございませんが、当日体調の優れない方は参加をお控えいただきますようお願いいたします。